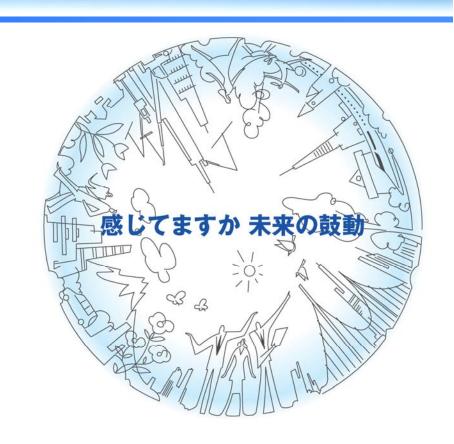


銘柄略称: ACKG 証券コード: 2498

2013年9月期 第2四半期 決算説明会

2013年5月31日 代表取締役社長 廣谷 彰彦







プレゼンテーション・アウトライン

I: ACKグループのご紹介

Ⅱ: 今回の決算説明会のポイント

Ⅲ: 2013年9月期 経営方針

Ⅳ: 2013年9月期 第2四半期業績ハイライト

V: 2013年9月期 通期業績見通し

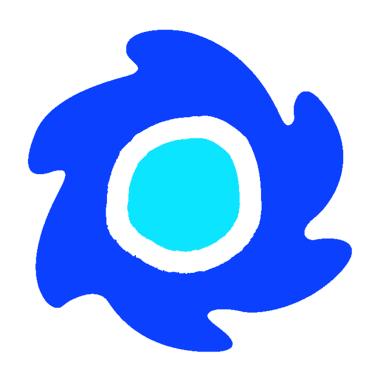
VI: 今後の展開 -ACKG2013の推進-

Ⅷ: 質疑応答

APPENDICES

ー主要トピックス、連結決算詳細

I:ACKグループのご紹介





ACKグループのあゆみ

(株)オリエンタルコンサルタンツを中心に、

確実に成長してまいりました。

1957年	〇株式会社オリエンタルコンサルタンツ創立 (道路、鉄道等のコンサルタント事業で発展)
1999年~	〇オリコンサルグループを形成し、グループ経営を開始
2006年~	〇オリコンサルグループを継承し、株式会社ACKグループを創立 〇株式会社オリエンタルコンサルタンツの海外事業を大幅に拡大 〇グループとしての価値観を共有できる、さまざまな企業の参画

1957年~



1999年~



2006年~





ACKグループの提供サービス

海外・民間・国内公共の社会インフラを対象に、 企画・提案~計画・設計~保全まで、 多様なサービスを、ワンストップで提供しています。





グループ会社の紹介

多様な専門技術を保有している5社を中心に運営しています。

会社名	創立	主な技術サービス・商品
(株)オリエンタルコンサルタンツ	1957年	交通・都市・地域・環境・構造・防災・ プロジェクトマネジメント など
(株)アサノ大成基礎エンジニアリング		地下水、建垣物解体、他工 など
(株)エイテック	1968年	建設・交通に関する調査・設計・監理・ 測量・計器類 など
㈱中央設計技術研究所	1947年	上下水道・廃棄物・環境調査・計画・ 設計・施工管理・維持管理 など
(株)リサーチアンドソリューション	1978年	ソフトウェア開発・販売、総務・経理、 人材マネジメント など

Ⅱ:今回の決算説明会のポイント





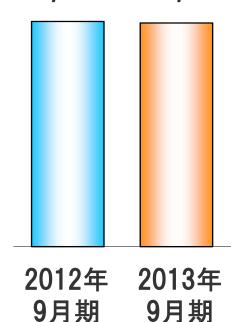
今回の決算説明会のポイント

1

営業利益、純利益とも前期から良化

<売上高>

12,896 12,809

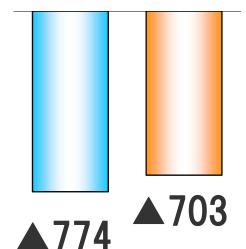


2Q

2Q

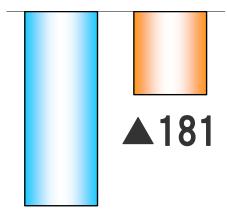
<営業利益>

2012年 2013年 9月期 9月期 2Q 2Q



<純利益>

2012年 2013年 9月期 9月期 2Q 2Q



▲423

単位:百万円



今回の決算説明会のポイント

- 2
- 中期経営計画ACKG2013は着実に推進
- ●社会インフラ創造企業の推進
 - ✓自らが投資する事業経営を拡大
- ●「技術の深化」と「新たな事業創造」による事業拡大 ✓6つの重点化事業を強力に推進し、事業拡大を加速
- ●国内外シームレスな共同体実現に向けた育成、連携
 - √現地法人設立など海外拠点の拡充を推進
 - ✓グローバル人材育成の強化







2013年9月期 経営方針

■中期経営計画ACKG2013を着実に推進するため、 今期の経営方針を設定

<強みの活用>

◆交通運輸事業、海外事業の強みを活かし、 グループの力を結集し、ワンストップで推進

<事業開拓>

◆「技術の深化」と「新たな事業創造」により、 公共から民間へ、世界へ

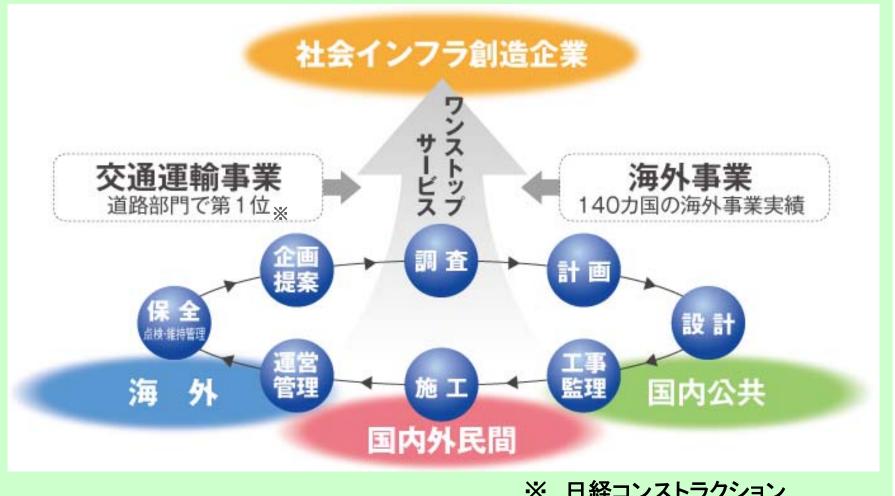
く育成と連携>

◆国内外から人が集い、育ち、 国内外シームレスな共同体の実現



強みの活用

◆強みを活用した事業展開を推進

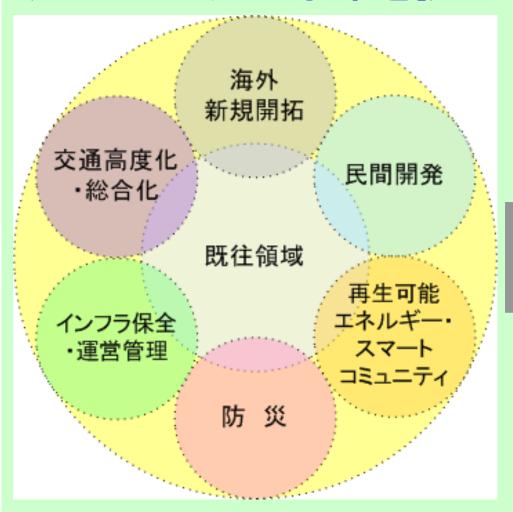


※ 日経コンストラクション 2012年9月号(日経BP社)より



事業開拓

◆6つの重点化事業を強力に推進



【2013年9月期】 重点化プロジェクト 約40件を推進中



育成と連携

- ◆人材・組織の強化・最適化
 - ●人材育成
 - ACKグループ海外人材育成研修の強化
 - ・各事業会社のグローバル人材育成強化 等
 - ●グループ内連携強化
 - 連携強化に向けた技術共有、人材交流、 情報共有等の強化等
 - ●グループ外連携強化
 - (株)Inter Act[※]との連携強化
 - ・外部機関等との連携推進 等
- ※ ㈱InterAct社は、弊社 グループとパシフィック コンサルタンツグループ 株式会社との共同出資 会社



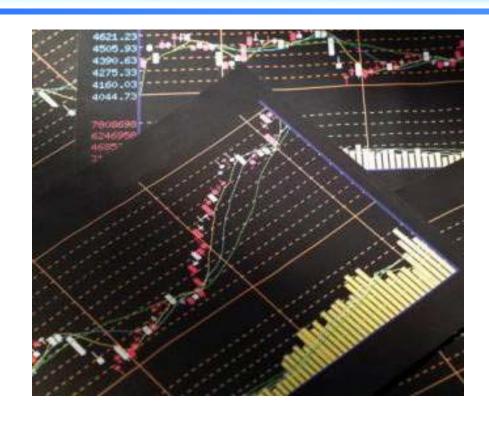
投資見込み

◆今期は約6億円を投資

項目	投資額
事業開拓	約3億円
組織・人材、基盤整備	約3億円
投資額計	約6億円



IV:2013年9月期 第2四半期業績ハイライト





連結受注高

■受注高は減少、受注残高は増加

- > 国内は、震災復興関連事業等の受注により増加
- > 海外は、契約期ずれ等により減少
- > 受注残高は前期受注増の影響により増加、今後の売上に貢献

(百万円)

	前期 (2Q)	当期 (2Q)	増減	計画値
受注高	16, 237	15, 398	-839 (-5.1%)	
受注残高	34, 353	36, 899	2, 546 (7. 4%)	_

※受注済で生産中の契約総額



売上高

連結売上高

■売上高はほぼ前期並み

- ▶ 売上高は、期ずれ等の影響でほぼ前期並み
- > 通期連結売上高は、受注残高の増加により、

計画値を達成の見込み

前期 (2Q) 当期 (2Q) 増減 計画値 12,896 12,809 ↓ -87 (-0.6%) 13,200



連結売上高

■国内民間、海外事業は前期から売上高が増加

12,896	全体	12,809	前期比 -0.6%
4,597 36%	海外	5,053 39%	前期比 -0.6% (-87)
5,679 44%	国内公共	4,829 38%	前期比 -15.0%
2,620 20%	国内民間	2,928 23%	前期比 +11.7%
前期 (2Q)		当期 (2Q)	単位:百万円



連結損益

■利益は良化、特に経常利益、当期純利益は大幅良化

- > 経常利益は、為替差益等の影響により前期から増加
- 当期純利益は、子会社株式の追加取得時における 特別利益等の影響により増加

(百万円)

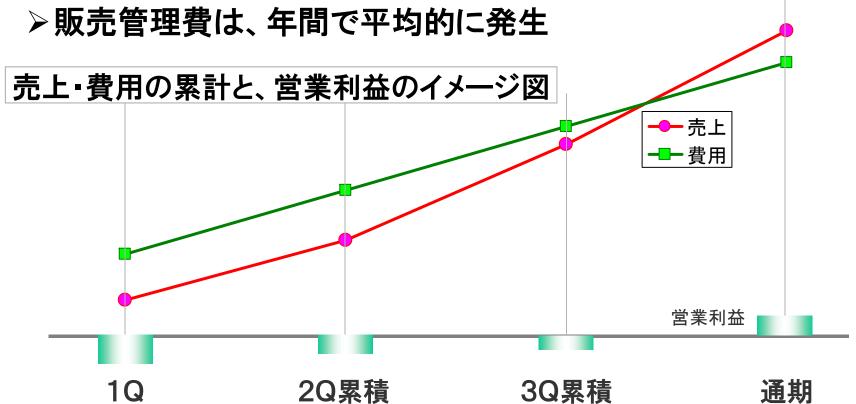
	前期 (2Q)	当期 (2Q)	増減	計画値
営業利益	▲ 774	▲ 703	1 (+71	▲1,27 0
経常利益	▲725	▲ 525	1 (+200 (-)	▲1,28 0
当期純利益	▲423	▲ 181	1 (+242 (-)	▲ 610



年間の業績推移の特性について(参考情報)

■年度前半は、赤字を計上する傾向(業界全般の傾向)

- ▶売上の累計が費用累計を超えるのが、第4四半期になる傾向
- ▶業務完了後に一括で支払いされることによる業界的な構造
- ▶生産活動費用は、入金以前に発生









2013年9月期通期業績見通し

■中期経営計画ACKG2013の推進等により

業績達成の見込み

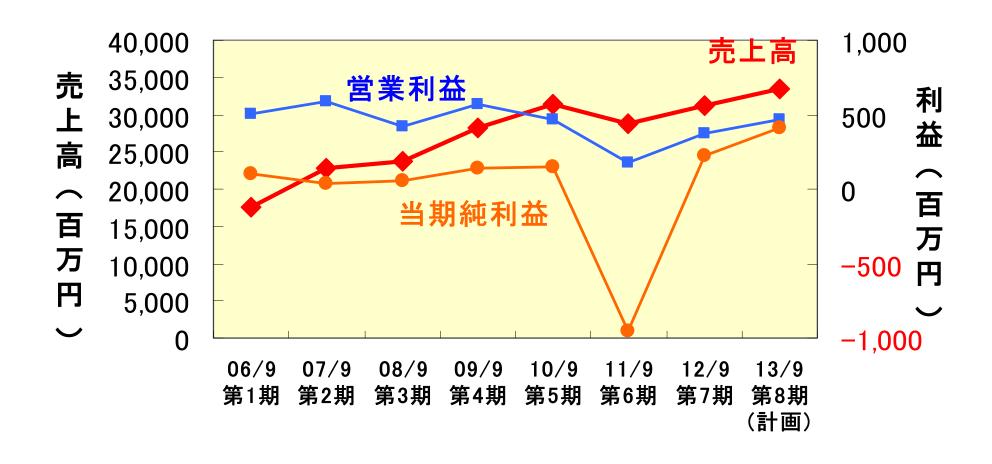
(百万円)

	2012/9月期 通期 実績値	2013/9月期 通期 計画値		増減
売上高	31, 190	33, 400	1	+2, 210 (+7. 1%)
営業利益	375	470	1	+95 (+25. 2%)
経常利益	345	430	1	+85 (+24.5%)
当期純利益	227			+183 (+80.5%)

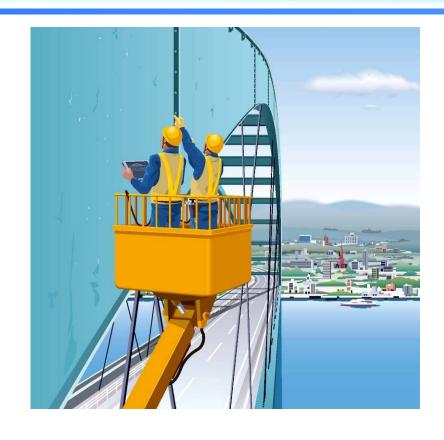


通期業績の推移

■ACKグループのさらなる成長を目指し、 売上高、利益等の業績を拡大



VI:今後の展開 - ACKG2013の推進 -





ACKG2013 スローガン

社会インフラ創造企業 ~自らが社会を創造する担い手となる~



チャレンジ [**挑 戦**]

受動型ビジネスから 主導型ビジネスへの転換

受動型ビジネス



主導型 ビジネス 自らが投資し、

事業者としてインフラビジネスを推進

受託業務



事業経営



グループを取り巻く外部環境

国内

- > 防災等の観点から国土強靭化など公共投資が拡大
- ▶維持管理等インフラ保全関連予算が増加
- >景気回復(アベノミクス)により民間企業投資の増加

海外

- >経済成長に伴い新興国を中心にインフラ需要が拡大
- ▶政府、経済界ともにインフラ海外展開への動きが強化
- ▶環境・エネルギー関連の海外支援政策が積極化

ACKグループへの影響

- >海外事業における価格競争力の向上
- >国内事業における市場環境の向上(公共事業費の増加等)
 - ⇒株価はH24.10月からH25.5月時点で約2倍に



社会インフラ創造企業の推進

■自らが投資する事業経営を拡大

- ◆山梨県南アルプス市太陽光発電事業 (全国初の官民連携事業)
- ◆山梨県昭和町太陽光発電事業 (全国2例目の官民連携事業)
- ◆福井県越前市太陽光発電普及事業 (日本海側初の公共施設屋根貸し事業)
- ◆敷島公園運営管理 (地域活性化マネジメント事業) 等



「技術の深化」と「新たな事業創造」による事業拡大

- ◆6つの重点化事業を着実に進展
- ◆特に国土強靭化に関連するインフラ保全、 防災は約20件と多くのプロジェクトに重点投資

インフラ 保全

- •ICT活用、診断、監視等の技術を研究開発
- ・高度で効率的なインフラ保全を提案 等

防災

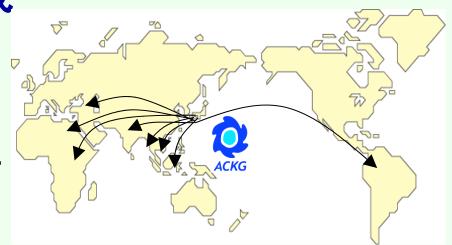
- •自治体の復興計画・防災計画策定を多数支援
- ・避難シミュレーション等を活用した災害対策 等



国内外シームレスな共同体実現に向けた育成、連携

■グローバル人材の育成

- 基礎、上級研修修了者を 実務研修として海外に 派遣(今期約30名)
- 国内実務者を海外実務者に配置転換(約20名)



■基盤整備

- ・現地法人設立(インド等)、ローカル人材雇用など、 ローカルコンサルタント業務への参入を促進
- ・(株)Inter Actと(株)オリエンタルコンサルタンツの連携強化 (共同企画プロジェクトへ投資)
- 外部機関との連携強化(大学等研究機関及びIT等他企業)



重点化事業(インフラ保全・運営管理)

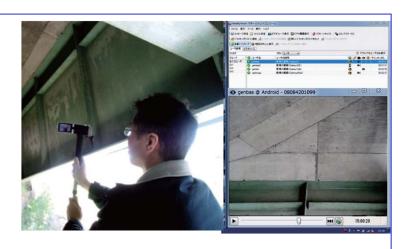
現在での取組み事例(抜粋)

- ■インフラ保全の総合的な取り組み
- •インフラ保全にICTを積極的に活用
- ・診断技術、監視技術等の研究開発





株式会社エイデック



遠隔地で健全度を診断

■敷島公園を運営、管理

- •(株)オリエンタル群馬をH25.3.15に設立
- •地域活性化マネジメント事業を推進



敷島公園まつり





重点化事業(インフラ保全・運営管理)

現在での取組み事例(抜粋)

■港湾施設の長寿命化を一貫して実施

- 計画的かつ適切な維持管理計画を策定
- ・調査、予測、評価、対策まで一貫して実施

(青森港、那覇港ほか、全国で実施)





潜水による目視調査

■下水道長寿命化計画を策定

- 調査、診断、予防保全型管理手法等を検討
- ・財政健全化に向けた提言 (京都府長岡京市ほか、全国で実施)





TVカメラによる管路調査



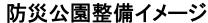
重点化事業(防災)

現在での取組み事例(抜粋)

■復興計画・防災計画の作成を支援

- •復興まちづくり、地域防災計画を作成
- •茨城県沿岸部の複数の自治体を支援 (北茨城市、高萩市、大洗町、鹿嶋市、神栖市)







■避難シミュレーションを開発、活用

- 避難シミュレーション(徒歩想定)を実施
- 津波避難対策等を検討
- (茨城県神栖市)



避難シミュレーションイメージ





重点化事業(再生可能エネルギー/スマートコミュニティ)

現在での取組み事例(抜粋)

■太陽光発電の事業形成・運営(2件目)

- •全国2例目のPPP(官民連携)による設置
- ・市の財政負担はゼロ

(山梨県昭和町 2社JV(株)オリエンタルコンサルタンツ、株)早野組))





太陽光発電設置箇所

■南アルプス市における地域活性化事業

- •モビリティサービス事業を推進
- ・持続可能な仕組みに向け社会実験を実施 (山梨県南アルプス市)





周遊ビークルの運行



重点化事業(交通(高度化・総合化))

現在での取組み事例(抜粋)

■ビッグデータを用いた研究・分析を実施

- •道路交通関連の膨大なデータを分析
- ・交通、災害の予測、防災計画策定等支援(DOMINGO(データ志向型モビリティ情報研究 共同体(東北大学中心に7社))に参画)





道路インフラ整備・管理計画支援イメージ

■ドライブレコーダーデータを用いた事故分析

- 事故分析に活用できる新たなデータを収集
- •効果的な事故対策の立案等を支援







重点化事業(海外新規開拓)

現在の取組み事例(抜粋)

■中米一規模の太陽光発電所を整備

- 調査、設計、施工監理を実施
- ・地球温暖化等の環境負荷軽減に寄与(ニカラグア共和国)

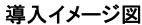




■ガラパゴス諸島の環境保全に協力

- ・化石燃料ゼロ化を支援
- ・クリーンエネルギー導入計画策定を支援 (エクアドル共和国)







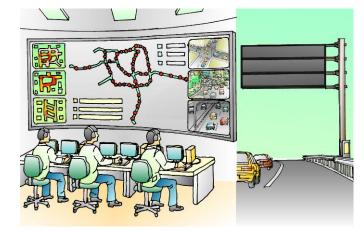


重点化事業(海外新規開拓)

現在の取組み事例(抜粋)

■ハノイ大都市圏のITSプロジェクトを支援

- •国家規模でのITSの検討に参画
- ITSマスタープラン、調査、設計等支援(ベトナム ハノイ)





株式会社オリエンタルコンサルタンツ

■SHINKANSEN輸出への貢献

- •世界の鉄道整備調査に積極的に関与
- 日本の高速鉄道技術優位性をアピール (インド、マレーシア、タイ、ベトナム、インドネシア)







感じてますか 未来の鼓動

『世界の人々の豊かなくらしと夢の創造』を目指し、今の業容にとらわれずサービス領域の無限大へ今後も





本資料および本説明会の説明には、当社(連結子会社を含む)の見通し、 目標、計画、戦略などの記述が含まれております。これらの記述は、当 社が現在入手している情報に基づく判断や仮定に基づいており、将来に おける当社の実際の業績または展開と異なる可能性があります。







一主要トピックスー

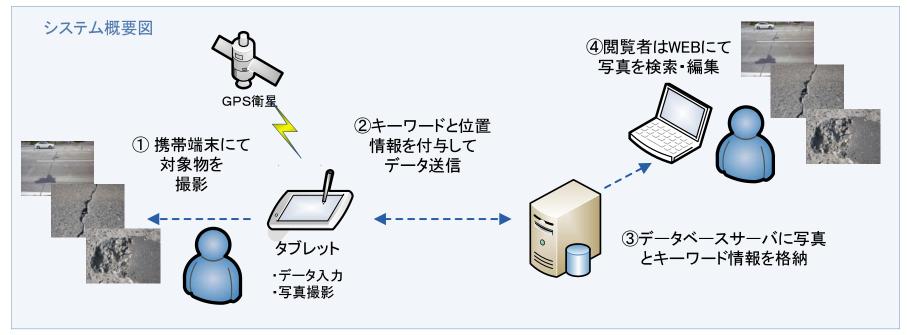






◇空洞調査の新たな調査解析手法に関する研究

○舗装の維持管理の効率化・高度化を目指して、タブレット(又はスマートフォン)を活用した舗装点検の支援システムを開発 ○本システムにより、入力・取りまとめ作業の負荷を軽減、煩雑な点検作業を効率的に行うとともに、点検項目の漏れや写真の取り忘れを防ぐことで作業の短縮が図られ、コスト削減に寄与



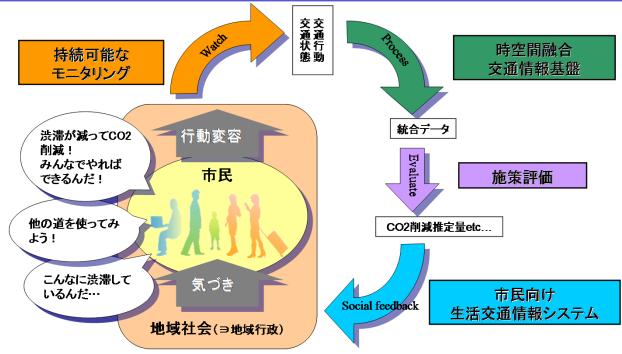
▲システムの概要





◇柏地区における生活交通情報フィードバックシステム開発

- ○交通や環境に対するリアルタイム情報を提供することで、市民の 交通行動変容を促進する社会実験を実施予定
- 〇時空間MRFモデル画像解析を活用したリアルタイム監視システムを開発、2013年の社会実験及びITS世界会議東京の出展を予定
- ※時空間MRFモデル:東京大学生産技術研究所上條研究室にて研究・開発した画像解析モデル



▲「持続可能な生活交通情報フィードバックシステム」のイメージ





◇モルドバ国内初の系統連系型※太陽光システム導入

- 〇モルドバ最大の癌研究所内へ電力を供給し、消費電力の一部を 賄う予定(2013年8月に完成予定)
- ○本システムの導入により、CO₂排出量の削減とともに、国内 エネルギー利用比率の向上により、電力輸入量縮減を期待
- ※ 系統連系型とは、売電を可能とするため、電力会社の送電網に繋げる形態 (太陽光発電では、他に独立蓄電(電池等に充電し売電が不可能)の形態がある)

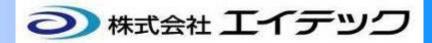


▲完成予想イメージ



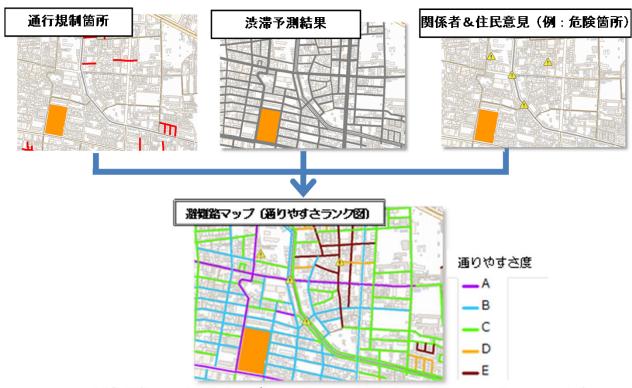
▲現在施工中の病棟屋上





◇各種データの融合によるマップ作成の提案

- ○道路·交通に関する各種データを組合せ、専門家としての知見による検討結果を素早く情報提供できる仕組みを構築
- ○車両の避難に特化した地域防災計画を検討(重ね合せマップ活用)



▲道路・交通データの重ね合せイメージ





◇神奈川県水道事業における事業継続計画(BCP)の策定

- 〇災害時の水供給の継続、早期事業回復に向けた、水道施設の事業継続計画(BCP)を策定
- 〇実践的な管理手法、職員の意識向上や教育訓練計画及び計画の 実効性、最新性を確保するための継続的改善計画を策定

【BCP調整会議】

- ・基本方針の決定
- •業務継続計画の策定
- ・見直し結果の計画への反映

Plan (計画)

Act

Do (実行)

【各部所•事業体全体】

- •事業継続計画の運用
- •事前対策計画の推進
- •教育•訓練の実施

【各部所•幹部層】

- ・実施の遅れの改善
- ・計画自体の改訂・更新
- ・見直し結果の周知

(改善) Check (評価)

【BCP調整会議】

- ・実効性の検証
- ・達成状況の評価・分析

▲事業継続マネジメント(BCM)の運用計画



一連結決算詳細一





連結貸借対照表

(単位:百万円)	前期		当期		増減額	
流動資産	20, 456	(81.3%)	20, 809	(82.5%)	353 [°]	受注残高の増に
固定資産	4, 657	(18.5%)	4, 371	(17.3%)	▲286	よる未成業務 支出金増
資産合計	25, 134	(100.0%)	25, 193	(100.0%)	59	
流動負債	17, 529	(69.7%)	18, 161	(72.0%)	632	短期借入金増加
固定負債	2, 733	(10.8%)	2, 010	(7.9%)	▲723 -	
負債合計	20, 262	(80.6%)	20, 171	(80.0%)	▲91	社債の償還及び
資本金	503	(2.0%)	503	(1.9%)	_	長期借入金の 返済
資本剰余金	748	(2.9%)	747	(2.9%)	▲1	~~"
利益剰余金	3, 555	(14.1%)	3, 986	(15.8%)	431	
少数株主持分	339	(1.3%)	_	(-%)	_ <	│子会社株式の │追加取得
純資産合計	4, 871	(19.3%)	5, 021	(19.9%)	150	XEMPIN IN
負債•純資産 合計	25, 134	(100.0%)	25, 193	(100.0%)	59	



連結損益計算書/受注高

					(百万円)	
	前期		当期		増減額	
売上高	12, 896	(100.0%)	12, 809	(100.0%)	▲87	
売上原価	10, 173	(78.8%)	10, 122	(79.0%)	▲ 51	
販売費・ 一般管理費	3, 497	(27.1%)	3, 390	(26.4%)	▲ 107	経費削減等により 営業利益が増加
営業利益	▲ 774	(\(\)6 .0%)	▲ 703	(▲5.4%)	71 ~	
経常利益	▲725	(▲ 5.6%)	▲ 525	(▲ 4.1%)	200	
当期純利益	▲ 423	(▲ 3.2%)	▲181	(▲1.4%)	242	
受注高	16, 237		15, 398		▲839 <	海外の契約期ずれ 等による受注減 (通期は回復見込)



連結キャッシュ・フロー計算書

	(百万円) 			
	前期	当期	増減額	
営業活動による キャッシュフロー	700	▲ 1, 907	▲ 2, 607	売上規模拡大のため、 営業活動強化
投資活動による キャッシュフロー	▲235	▲169	66	
財務活動による キャッシュフロー	3, 045	4, 735	1, 690	営業活動強化による
現金及び現金同等物 の四半期末残高	4, 754	4, 355	▲399	借入金の増加



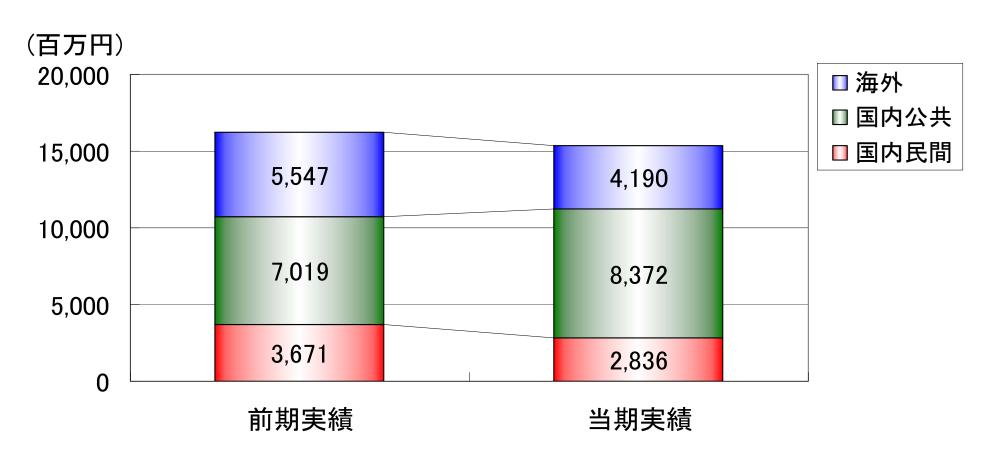
指標関係(連結)

	単位	前期	当期
1株当たり当期純利益(EPS)	(円)	▲ 83. 57	▲ 35. 66
自己資本比率	(%)	18.0	19. 9
自己資本純利益率(ROE)	(%)	▲ 9. 1	▲3. 6
総資産経常利益率(ROA)	(%)	▲ 2. 9	▲2. 1
株価純資産倍率(PBR)	(倍)	0.30	0. 56

※上記は、前期:2012/3/30 (270円)、当期:2013/3/29 (548円) の株価の終値をもとに整理

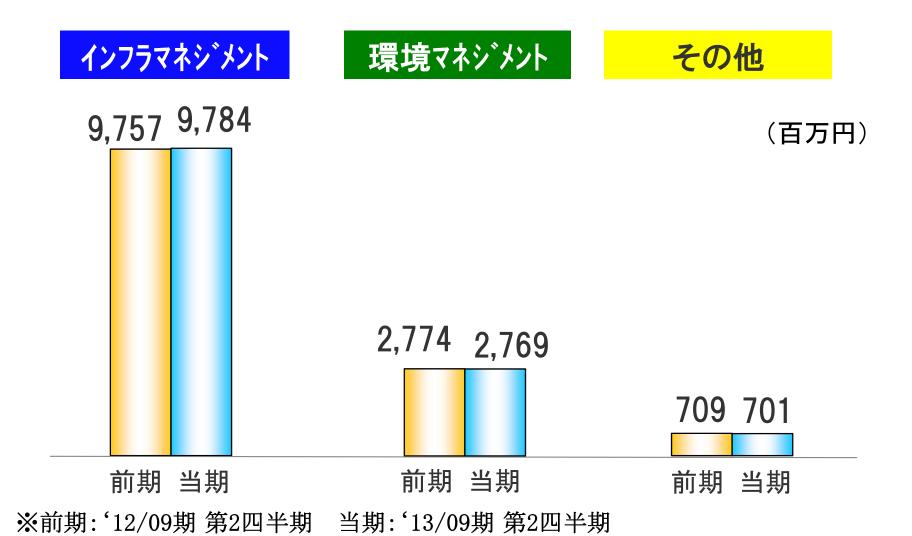


3軸別受注高について





セグメント別売上高について





お問い合せ先

JASDAQ

銘柄略称:ACKG

証券コード: 2498



〒151-0071

東京都渋谷区本町3-12-1 住友不動産西新宿ビル6号館

TEL: 03-6311-6641(代) FAX: 03-6311-6642

URL: http://www.ack-g.com

(銘柄略称:ACKG/証券コード:2498)

問合せ 企画開発本部 森田 信彦

e-mail: ir-ackg@ack-g.com

本日はご多忙の中、 弊社の決算説明会にご来場いただき、 誠にありがとうございました。

